

平成26年度 事業別予算概要(地域振興特別予算)

事業名	62199	飛騨にゆうかわイベント開催事業	会計	1	一般会計	特別 予算の 位置 付け	○	A	合併前から実施されているイベント・行事	根拠計画	地域振興計画	市長 公約	1	積極的な観光振興策を実施します。 ・合併後の周辺の自然環境や地域特有の伝統文化など多様な観光資源を新たな観光資源として積極的に活用します。 ・高山市を訪れる年間観光客500万人、外国人観光客30万人を目指します。
種別			款	6	商工費		B	一般予算の上乗せとして実施されている事業						
担当課	丹生川支所 基盤産業課	内線	項	2	観光費	C	終期を定めて実施する事業・単年度事業	H26計画額	7,600	千円	市長公約	1		
		3131	目	1	観光振興費	D	その他事業							

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	観光客及び市民	どうしたいのか(意図)	・貴重な自然観光資源と豊富な農産物を活かし四季を通じたイベントを開催し、交流人口の増大と地域産業の活性化を図る。	概要	事業の実施手法(手段)	・乗鞍岳山開き祭 ・飛騨にゆうかわコスモまつり ・飛騨にゆうかわ宿儺まつり ・NORIKURAウィンターカーニバル の各事業実施団体への負担金
	対象者数	20,000	人				

2 事業の推移・結果(Do)

H24実績	・乗鞍岳山開き祭 ・飛騨にゆうかわコスモまつり ・飛騨にゆうかわ宿儺まつり(夏まつり) ・飛騨にゆうかわ宿儺まつり ・NORIKURAウィンターカーニバル	5月15日 8月25日～9月2日 8月4日 11月9日 2月2・3日	以上の実行委員会負担金を支出					
成果 面	活動 指標	指標名	単位	目標・実績	H23	H24	H25	H26
		開催イベント数	回	目標値	4	4	4	5
	算出根拠等		実績(見込)	4	5	5		
	達成率(%)	100	125	125				
	成果 指標	乗鞍岳山開き祭 入込人数	人	目標値	1,000	1,000	1,000	1,000
		実績(見込)	1,637	383	790			
	算出根拠等		達成率(%)	164	38	79		
	成果 指標	飛騨にゆうかわ宿儺まつり(夏まつり) 入込人数	人	目標値	0	4,000	4,000	4,000
		実績(見込)	0	4,000	5,000			
	算出根拠等		達成率(%)	100	125			
	成果 指標	飛騨にゆうかわコスモまつり 入込人数	人	目標値	25,000	25,000	25,000	25,000
		実績(見込)	38,090	26,100	18,900			
	算出根拠等		達成率(%)	152	104	76		
	成果 指標	飛騨にゆうかわ宿儺まつり 入込人数	人	目標値	10,000	10,000	10,000	7,500
		実績(見込)	10,500	7,500	8,000			
	算出根拠等		達成率(%)	105	75	80		
成果 指標	NORIKURAウィンターカーニバル 入込人数	人	目標値	4,000	4,000	4,000	4,000	
	実績(見込)	4,200	4,200	3,800				
算出根拠等		達成率(%)	105	105	95			
補足								

3 分析・評価(Check)

H24決算における分析・評価で明らかになった課題	・イベント開催経費の自主財源確保。 ・将来のイベントの方向性(一般予算化や自主事業)の検討。
--------------------------	---

4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH25対応状況	・自主財源の確保とともに、各イベントの将来方針について検討を進め、自主運営化または一般予算化を進める。	
次年度の 実施方針	維持・改善	・自主財源の確保とともに、各イベントの将来方針について検討を進め、自主運営化または一般予算化を進める。 ・地域主体の事業とすべく、特例期間終了を見据え、行政の支援を縮小する必要がある。 ・各種効果について分析を行い、各イベントのあり方について検討する必要がある。
	拡大	
	縮小	
	廃止検討	
二次 評価	維持・改善	・自主財源の確保とともに、各イベントの将来方針について検討を進め、自主運営化または一般予算化を進める。 ・地域主体の事業とすべく、特例期間終了を見据え、行政の支援を縮小する必要がある。 ・各種効果について分析を行い、各イベントのあり方について検討する必要がある。
	縮小	
	廃止検討	

コスト面

コスト 指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)	H23 決算額	H24 決算額	H25 予算額	H26 予算要求額	
	歳出(千円)	(A)	10,688	9,644	8,700	7,600
	受益者1件当たり(円)	(A/B)	606	480	435	371
	受益者	(B)	17,637	20,083	24,590	20,500

5 予算編成(Action2)

事業内容	地域産業の活性化と交流人口の増大を目的とした乗鞍岳山開き祭、夏まつり、コスモまつり、宿儺まつり、ウィンターカーニバルの開催に伴う、実行委員会負担金。	要求の ポイント	市負担金の段階的な減額と自己財源率の向上を図る。	事業 実施 の 課題	支 所	観光振興事業として、現在実施されているイベントの目的や性質により、それぞれ平成27年度以降の取り扱いを検討している。この方針に基づき一般予算への移行や、地域の自主事業、あるいは事前に地域との事業終了に向けた検討が必要である。	観光課	平成27年度以降の観光振興事業については、市の関わり方、実施主体、誘客効果等の観点から、市が直接実施するもの、市が民間と一体となって実施するもの、民間団体が主体となって実施するもの及び地域の自主事業に整理することとしており、地域振興イベントについても、整理方針への対応を見据えた事業実施が必要である。
							地域政策課	同上

事業費(人件費除く)	H25当初予算額	H26予算要求額	増減	財務部調整額	市長査定額	財務部調整の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)	8,700	7,600	△ 1,100	7,600	7,600	・要求どおり	・財務部査定のとおり
財源内訳							
国庫支出金	0	0	0				
県支出金	0	0	0				
その他	0	0	0				
一般財源	8,700	7,600	△ 1,100	7,600	7,600		

平成26年度 事業別予算概要(地域振興特別予算)

事業名	95199	スキー大会開催事業	会計	1	一般会計	特別 予算の 位置 付け	○	A	合併前から実施されているイベント・行事	根拠計画	地域振興計画	市長公約	1 積極的な観光振興を実施します。 ・観光と一体となり消費効果が高い大規模会議や大規模展示会などを、飛騨地域全体で積極的に誘致します。
種別			款	9	教育費		B	一般予算の上乗せとして実施されている事業					
担当課	丹生川支所 地域振興課	内線	項	5	保健体育費	C	終期を定めて実施する事業・単年度事業	H26計画額	450 千円				
		3121	目	1	体育総務費	D	その他事業						

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	市民及び大会参加者	どうしたいのか(意図)	スキー場を利用して、東海社会人スキー大会・乗鞍大回転競技大会・マスターズスキー大会を開催し市民のスキー技術の向上を図ると共に、冬季就労の場の確保及び地域商業の活性化につなげていく。	概要	事業の実施手法(手段)	東海社会人スキー大会 300名、乗鞍大回転競技大会 250名、マスターズスキー大会 300名
	対象者数	850					

2 事業の推移・結果(Do)

H24実績	東海社会人スキー大会、乗鞍大回転競技大会、マスターズスキー大会の開催。								
成果面	指標名		単位	目標・実績	H23	H24	H25	H26	
	活動指標	大会の開催回数		回	目標値	3	3	3	3
		実績(見込)				3	3	3	
		算出根拠等			達成率(%)	100	100	100	
	成果指標	東海社会人スキー大会参加者		人	目標値	300	300	300	300
		実績(見込)				256	254	300	
		算出根拠等			達成率(%)	85	85	100	
	成果指標	乗鞍大回転競技大会参加者		人	目標値	250	250	250	250
		実績(見込)				233	233	250	
		算出根拠等			達成率(%)	93	93	100	
	成果指標	マスターズスキー大会参加者		人	目標値	300	300	300	300
		実績(見込)				257	257	300	
算出根拠等			達成率(%)	86	86	100			
補足				目標値					
				実績(見込)					
	算出根拠等			達成率(%)					

3 分析・評価(Check)

H24決算における分析・評価で明らかになった課題	スキー人口が減少している中で、大会参加者の確保が必要である。大会の開催は参加者のスキー技術の向上だけでなく、冬季就労の場の確保及び地域の商業の活性化につながるため、事業の継続をする必要がある。
--------------------------	--

4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH25対応状況	・各大会ごとに参加者の確保を検討する。 ・冬季就労の場の提供及び地域の商業の活性化につなげるために事業を継続する必要がある。																
次年度の実施方針	<table border="1"> <tr> <td>維持・改善</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>拡大</td> <td></td> </tr> <tr> <td>縮小</td> <td></td> </tr> <tr> <td>廃止検討</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持・改善</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>拡大</td> <td></td> </tr> <tr> <td>縮小</td> <td></td> </tr> <tr> <td>廃止検討</td> <td></td> </tr> </table>	維持・改善	○	拡大		縮小		廃止検討		維持・改善	○	拡大		縮小		廃止検討	
維持・改善	○																
拡大																	
縮小																	
廃止検討																	
維持・改善	○																
拡大																	
縮小																	
廃止検討																	

コスト面

コスト指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)		H23 決算額	H24 決算額	H25 予算額	H26 予算要求額	
	歳出(千円)		(A)	450	450	450	
	受益者1件当たり(円)		(A/B)	603	605	529	529
	受益者	市民及び大会参加者	(B)	746	744	850	850

5 予算編成(Action2)

事業内容	東海社会人スキー大会、乗鞍大回転競技大会、マスターズスキー大会の開催負担金	要求のポイント	スキー技術の向上と飛騨地域への誘客を図るためのスキー大会の開催	事業実施の課題	<p>スキー人口が減少している中で、競技者の拡充が必要である。大会の開催は参加者のスキー技術の向上のみではなく、冬季就労の場の確保及び地域の商業の活性化につながるため、事業の継続をする必要がある。</p> <p>地域スポーツ振興事業は、地域の特性に応じた各種大会の開催や地域におけるスポーツ活動の推進等に対する助成として全支所地域において地域振興特別予算に計上されている。今後、協働のまちづくりにより、地域(実行委員会)が事業を自主運営していくことができる仕組みづくりを検討する必要がある。</p> <p>平成27年度以降の事業実施について、地域で検討する必要がある。</p>	スポーツ推進課 地域政策課
------	---------------------------------------	---------	---------------------------------	---------	--	------------------

事業費(人件費除く)		H25当初予算額	H26予算要求額	増減	財務部調整額	市長査定額	財務部調整の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)		450	450	0	450	450	・要求どおり	・財務部査定のとおり
財源内訳	国庫支出金			0				
	県支出金			0				
	その他			0				
	一般財源	450	450	0	450	450		

平成26年度 事業別予算概要(地域振興特別予算)

事業名	31199	地域社会福祉推進事業費 (結婚相談特別推進事業)	予算	会計	1	一般会計	特別 予算の 位置 付け	A	合併前から実施されているイベント・行事	根拠計画	地域振興計画	市長公約	4 個人・家庭・地域を大切に社会を築きます。 ・市民が幸せな家庭生活を送り、安心して暮らせる地域を築くため、地域の自主的なコミュニティ活動や環境整備事業の予算枠を確保します。
種別				款	3	民生費		○	B				
担当課	丹生川支所 地域振興課	内線	3122	項	1	社会福祉費		C	終期を定めて実施する事業・単年度事業	H26計画額	210 千円		
		目		1	1	社会福祉総務費		D	その他事業				

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	地域住民	どうしたいのか(意図)	結婚相談事業は、旧丹生川村の総合計画においても重要課題として、ハッピーウエディング大作戦を展開してきた。引き続きこの事業を推進することにより、次世代を担う若者の結婚の機会を拡充し、活力ある地域づくりを目的とする。地域審議会においても強い要望がある。	概要	事業の実施手法(手段)	結婚相談協力員5名を配置し、結婚相談所開設日に情報交換を行うとともに、日々の相談(面接、電話、訪問)を実施する。 相談を受けた場合、相談者に対する今後の支援等について、相談員と協力員で検討を行う。
	対象者数	4,573					

2 事業の推移・結果(Do)

H24実績	毎月1回相談所の開設。結婚相談等延べ活動回数103回。交際中1件。								
成果 指標	指標名		単位	目標・実績	H23	H24	H25	H26	
	活動 指標	結婚相談日の開設		回	目標値	12	12	12	12
		実績(見込)			12	12	12		
		算出根拠等	実績値/目標値	達成率(%)	100	100	100		
	成果 指標	結婚相談延べ件数		回	目標値	100	100	100	100
		実績(見込)			83	103	100		
		算出根拠等	実績値/目標値	達成率(%)	83	103	100		
	成果 指標	結婚成立件数		件	目標値	2	2	2	2
		実績(見込)			1	0	2		
		算出根拠等	実績値/目標値	達成率(%)	50	0	100		
	補足				目標値				
					実績(見込)				
算出根拠等			達成率(%)						

3 分析・評価(Check)

H24決算における分析・評価で明らかになった課題	・交際への発展のチャンスを多く生み出すために、登録者データの飛騨全域拡大に伴い、各相談所との連携を密にして情報提供を行う必要がある。 ・相談所の開設を広く該当者にとってもらうために、町内会長会議、地元広報誌等でのPRを実施する必要がある。
--------------------------	--

4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH25対応状況	・新体制(高山市・下呂市共同経営)への移行によって飛騨全域に拡大された登録者のデータを活用しながら、協力員ならではのきめ細やかな相談対応により交際への発展を目指す。 ・町内会長会議毎に周知を行う。 ・地元広報誌で相談所開設のPRを継続する。	
次年度の 実施方針	○維持・改善	・引き続き地域内へ相談所開設のPRを行い、相談所来訪者や登録者の増加を目指す。 ・今年度体制の移行によって拡大された登録者のデータを有効に活用しながら、協力員ならではのきめ細やかな相談を相談所開設日に限定せず行い、交際発展件数の増加に繋げる。 ・特例期間終了を見据え、市全体のバランスを考慮し、縮小(廃止)を検討する必要がある。
	○拡大	
	○縮小	
	○廃止検討	
二次評価	○維持・改善	
	○拡大	
	○縮小	
	○廃止検討	

コスト面

コスト 指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)	H23 決算額	H24 決算額	H25 予算額	H26 予算要求額
	歳出(千円)	(A)	210	210	210
	受益者1件当たり(円)	(A/B)	2,530	2,039	2,100
	受益者	(B)	83	103	100

5 予算編成(Action2)

事業内容	結婚相談協力員5名を配置。毎月第3水曜日の結婚相談所開設日に情報交換を行うとともに、日々の相談(面談、電話、訪問)活動。相談を受けた場合は、相談者に対する今後の支援等について、相談員と協力員で検討を行う。	要求の ポイント	事業 実施の 課題	福祉課 地域 政策課	本事業は丹生川支所のみで、福祉課事業の上乗せとなっている。 特例期間終了年度にあたり、縮小(廃止)を検討する必要がある。 同上
------	--	-------------	-----------------	------------------	---

事業費(人件費除く)		H25当初予算額	H26予算要求額	増減	財務部調整額	市長査定額	財務部調整の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)		210	210	0	210	210	・要求どおり	・財務部査定のとおり
財源 内訳	国庫支出金			0				
	県支出金			0				
	その他			0				
	一般財源	210	210	0	210	210		

平成26年度 事業別予算概要(地域振興特別予算)

事業名	31399	地域老人福祉推進事業費 (老人クラブ活動費助成事業)	会計	1	一般会計	特別 予算の 位置 付け	A	合併前から実施されているイベント・行事	根拠計画	高山市老人福祉計画	市長公約	5 医療・福祉を充実させます 地域住民が互いに支えあう仕組みや、緊急時の支援を万全にするため、独居老人、要介護者等への地域福祉体制を整備します。
種別			款	3	民生費		○	B				
担当課	丹生川支所 地域振興課	内線	項	1	社会福祉費		C	終期を定めて実施する事業・単年度事業	H26計画額	420 千円		
			目	3	老人福祉費		D	その他事業				

1 事業の目的・概要 (Plan)

目的	誰を(対象)	60歳以上の市民で構成される単位老人クラブ及び連合組織	どうしたいのか(意図)	明るい長寿社会と豊かな老後を目指す。	概要	事業の実施手法(手段)	高齢者の生きがいと健康づくり、また高齢社会を支える上で大きな役割を担っている老人クラブに対し、福祉の向上のために事務局人件費を助成し、老人クラブを通じて、各種活動の育成、支援を行う。
	対象者数	9,677					

2 事業の推移・結果 (Do)

H24実績	市連合長寿会に対して、事務局人件費を助成							
成果面	活動指標	指標名	単位	目標・実績	H23	H24	H25	H26
	連合長寿会会員数	人	目標値	10,500	10,000	10,000	10,000	
			実績(見込)	9,796	9,584	9,677		
	算出根拠等		達成率(%)	93	96	97		
	活動指標	連合長寿会単位老人クラブ数	クラブ	目標値	150	143	139	138
				実績(見込)	143	139	138	
	算出根拠等		達成率(%)	95	97	99		
	活動指標	連合長寿会加入率	%	目標値	43	40	40	40
				実績(見込)	39	38	37	
	算出根拠等	連合長寿会加入者数/65歳以上人口	達成率(%)	91	95	93		
	補足			目標値				
				実績(見込)				
算出根拠等		達成率(%)						
			目標値					
			実績(見込)					
算出根拠等		達成率(%)						

3 分析・評価 (Check)

H24決算における分析・評価で明らかになった課題	・新規加入者が少なく、連合長寿会会員の減・単位クラブの減が課題となっている。健康で生きがいを持って生活するために、地域とのつながりも深めながら、今後一層の充実と活発な取り組みが必要である。
--------------------------	--

4 今後の方向性 (Action)

課題等に対するH25対応状況	・本補助金を有効に活用するため、老人クラブにおける活動内容の見直しを進めながら事業継続し、組織の育成と活動の支援を行う。		
次年度の 実施方針	担当課評価	○ 維持・改善 □ 拡大 □ 縮小 □ 廃止検討	老人クラブ活動費補助金(31336事業)との一本化を図る。
	二次評価	○ 維持・改善 □ 拡大 □ 縮小 □ 廃止検討	
	・市域全体としては、会員数・クラブ数は減少傾向にあり、事業効果が高齢者全体に及んでいないようになってきていることから、老人クラブ活動費補助金との一本化については、今後の支援のあり方も含めて検討する必要がある。		

コスト面

コスト指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)	H23 決算額	H24 決算額	H25 予算額	H26 予算要求額
	歳出(千円)	(A)	420	420	420
	受益者1件当たり(円)	(A/B)	501	519	519
	受益者	丹生川地区会員(4月1日現在)	(B)	839	809

5 予算編成 (Action2)

事業内容	高齢者の生きがいと健康づくり、また高齢社会を支える上で大きな役割を担っている老人クラブの各種活動の育成、支援を行うため、その事務局人件費の助成を行う。	要求のポイント	地域老人クラブ事務局人件費	事業実施の課題	支所 地域を基盤とした老人クラブ活動の展開と、まちづくりへの高齢者の参画を支援し、より一層の活発な取り組みにするため、一般会計(31336事業老人クラブ活動費補助金)予算へ移行する必要がある。	高年介護課 地域政策課	・地域を基盤とした老人クラブ活動の展開と、まちづくりへの高齢者の参画を支援し、より一層の活発な取り組みにするため、一般会計(31336事業老人クラブ活動費補助金)へ移行する必要がある。 平成27年度以降は、市が取り組む事業として事業精査が必要である。
------	---	---------	---------------	---------	---	----------------	--

事業費(人件費除く)	H25当初予算額	H26予算要求額	増減	財務部調整額	市長査定額	財務部調整の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)	420	420	0	420	420	・要求どおり	・財務部査定のとおり
財源内訳	国庫支出金		0				
県支出金	280	280	0	280	280		
その他		0	0				
一般財源	140	140	0	140	140		

平成26年度 事業別予算概要(地域振興特別予算)

事業名	72199	市道未登記用地測量事業	内線 3141	予算	会計	1	一般会計	特別 予算の 位置 付け	A	合併前から実施されているイベント・行事	根拠計画	地域振興計画	市長公約
	種別				7	土木費	○		B	一般予算の上乗せとして実施されている事業			
担当課	丹生川支所 基盤産業課			1	項	2	道路橋りょう費	1	C	終期を定めて実施する事業・単年度事業	H26計画額	10,000 千円	
	目	1	道路橋りょう総務費		D	その他事業							

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	市道未登記地権者	どうしたいのか(意図)	市道未登記路線整理(未登記のまま道路整備した路線の登記整備)	概要	事業の実施手法(手段)	市道未登記箇所の確定測量を行い登記関係書類を作成し、所有者からの寄付により道路用地として高山市へ所有権移転登記を行う。
対象者数	127 人						

2 事業の推移・結果(Do)

市道旗鉾乗鞍線・朴の木平線登記事務委託							
活動指標	指標名	単位	目標・実績	H23	H24	H25	H26
	取組路線数	本	目標値	13	13	13	13
成果指標	算出根拠等		実績(見込)	7	3	4	
	用地分筆数	筆	達成率(%)	54	23	31	
算出根拠等			目標値	509	509	509	509
			実績(見込)	147	0	13	
算出根拠等			達成率(%)	29	0	3	
			目標値				
算出根拠等			実績(見込)				
			達成率(%)				
算出根拠等			目標値				
			実績(見込)				
算出根拠等			達成率(%)				
			目標値				
算出根拠等			実績(見込)				
			達成率(%)				
補足							

3 分析・評価(Check)

H24決算における分析・評価で明らかになった課題	全体としては道路管理者として市が進めていく事業として有効であるが、市民ニーズからすると効果が薄く取られ、費用対効果では表れにくい。そのため市民の理解、重要性の周知広報が必要。
--------------------------	---

4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH25対応状況	地元町内会や精通者などとも協議しながら、円滑に事業推進する。	
次年度の実施方針	○ 維持・改善 ○ 拡大 ○ 縮小 ○ 廃止検討	事業未実施、実施経過中の路線も多く、今後も継続して行く必要がある。
	○ 維持・改善 ○ 拡大 ○ 縮小 ○ 廃止検討	平成26年度までに重要路線の未登記処理を完了出来よう積極的に取り組んでいく必要がある。

コスト面

コスト指標	事業費(人件費を除き、繰越・補正を含む)	H23 決算額	H24 決算額	H25 予算額	H26 予算要求額
	歳出(千円)	(A) 9,880	14,836	15,000	15,000
	受益者1件当たり(円)	(A/B) 77,795	116,819	118,110	118,110
	受益者	市道未登記地権者 (B)	127	127	127

5 予算編成(Action2)

事業内容	市道未登記用地の調査、測量、登記	要求のポイント	事業実施の課題	維持課	世代交代が進んでいくため、早めに地権者の承諾を得て、優先順位をつけて未登記路線の解決を進める必要がある。
				地域政策課	平成27年度以降は、市が取り組む事業として事業精査が必要である。

事業費(人件費除く)		H25当初予算額	H26予算要求額	増減	財務部調整額	市長査定額	財務部調整の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)		15,000	15,000	0	15,000	15,000	・要求どおり	・財務部査定のとおり
財源内訳	国庫支出金			0				
	県支出金			0				
	その他			0				
	一般財源	15,000	15,000	0	15,000	15,000		

平成26年度 事業別予算概要(地域振興特別予算)

事業名	74799	花街道整備事業	会計	1	一般会計	特別 予算の 位置 付け	A	合併前から実施されているイベント・行事	根拠計画	地域振興計画	市長公約	4 個人・家庭・地域を大切に する社会を築きます。 日常生活における買い物、 通勤、通院などの移動手 段を確保するため、市民 の生活を守る公共交通網 を整備します。	
種別			款	7	土木費		○	B					一般予算の上乗せとして 実施されている事業
担当課	丹生川支所 基盤産業課	内線	項	4	都市計画費			C	終期を定めて実施する 事業・単年度事業	H26計画額			1,500 千円
		3141	目	7	快適環境整備費			D	その他事業				

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	丹生川地域住民	どうしたいのか(意図)	県外来客者及び市民が通行する市道等沿線の環境整備(雑草・支障木除去)により四季折々の美しい自然・快適環境を楽しんでもらう。	概要	事業の実施手法(手段)	各自自治体・個人事業主への委託。
	対象者数	4,573 人					

2 事業の推移・結果(Do)

H24実績	各沿線路側等の雑草支障木除去 ①市道等L=17km ②大規模林道等L=20km							
成果 指標	指標名		単位	目標・実績	H23	H24	H25	H26
	市道等	算出根拠等	L×W	目標値	35	35	35	35
				実績(見込)	35	37	36	
				達成率(%)	100	106	103	
	算出根拠等			目標値				
				実績(見込)				
				達成率(%)				
	算出根拠等			目標値				
				実績(見込)				
				達成率(%)				
	算出根拠等			目標値				
				実績(見込)				
達成率(%)								
算出根拠等			目標値					
			実績(見込)					
			達成率(%)					
算出根拠等			目標値					
			実績(見込)					
			達成率(%)					
算出根拠等			目標値					
			実績(見込)					
			達成率(%)					
補足	各自自治会での取組は年行事となっており共同作業することで活力ある町づくりの一役を担っている。							

3 分析・評価(Check)

H24決算における分析・評価で明らかになった課題	市道等管理道路の安全確保及び景観保全維持の観点から今後も継続する必要がある。
--------------------------	--

4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH25対応状況		
次年度の 実施方針	○ 維持・改善	地域の安全確保、景観保全維持のため今後も事業継続する。 美しい高山の里づくりとして維持継続する。
	拡大	
	縮小	
	廃止検討	
二次評価	○ 維持・改善	
	拡大	
	縮小	
	廃止検討	

コスト面

コスト 指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)	H23 決算額	H24 決算額	H25 予算額	H26 予算要求額	
	歳出(千円)	(A)	1,405	1,410	1,500	1,500
	受益者1件当たり(円)	(A/B)	303	305	328	328
	受益者	(B)	4,643	4,629	4,573	4,573

5 予算編成(Action2)

事業内容	道路路側等の雑草・支障木除去	要求のポイント	快適環境道路を維持する。	事業実施の課題	支所 各町内からの要望が多く、事業実施箇所の適正な選定が必要である。	都市整備課 地域政策課	当該事業は、安全確保の視点から道路管理者にて実施することが望ましい。 平成27年度以降は、市が取り組む事業として事業精査が必要である。
------	----------------	---------	--------------	---------	---------------------------------------	----------------	--

事業費(人件費除く)		H25当初予算額	H26予算要求額	増減	財務部調整額	市長査定額	財務部調整の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)		1,500	1,500	0	1,500	1,500	・要求どおり	・財務部査定のとおり
財源内訳	国庫支出金			0				
	県支出金			0				
	その他			0				
	一般財源	1,500	1,500	0	1,500	1,500		

平成26年度 事業別予算概要(地域振興特別予算)

事業名	94199	花のふるさとづくり事業	会計	1	一般会計	特別 予算の 位置 付け	A	合併前から実施されているイベント・行事	根拠計画	地域振興計画	市長公約	4 個人・家庭・地域を大切に社会を築きます ・市民が幸せな家庭生活を送り、安心して暮らせる地域を築くため、地域の自主的なコミュニティ活動や環境整備事業の予算枠を確保します。
種別			款	9	教育費		○	B 一般予算の上乗せとして実施されている事業				
担当課	丹生川支所 地域振興課	内線	項	4	社会教育費		C	終期を定めて実施する事業・単年度事業				
			目	1	社会教育総務費		D	その他事業				
H26計画額										2,500 千円		

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	各種団体・市民	どうしたいのか(意図)	国道、県道、市道沿いを中心として花飾りを実施し、このことを通じて地域の連帯意識の高揚を図ると共に、町内の環境美化の推進及び高山市へ訪れる多くの観光客の目を楽しませ地域全体のイメージアップを図る。	概要	事業の実施手法(手段)	コスモス街道のコスモスの育苗、植栽、栽培管理について高山市連合長寿会丹生川区長寿会に委託。花いっぱい運動については各種団体及び個人の活動で行っている。
対象者数		80 人					

2 事業の推移・結果(Do)

H24実績	<ul style="list-style-type: none"> ・コスモス街道(キバナコスモス)植栽距離 12km。 ・花いっぱい運動参加団体64団体 延べ花壇面積5,800㎡。 ・審査会参加団体71団体 							
成果面	指標名		単位	目標・実績	H23	H24	H25	H26
	活動指標	コスモス街道植栽距離	km	目標値	12	12	12	12
				実績(見込)	12	12	12	
	算出根拠等			達成率(%)	100	100	100	
	成果指標	花いっぱい運動参加団体(苗配布団体)	団体	目標値	70	70	70	61
				実績(見込)	67	64	61	
	算出根拠等			達成率(%)	96	91	87	
	成果指標	審査会参加団体(個人含む)数	団体	目標値	80	80	80	69
				実績(見込)	78	71	61	
	算出根拠等			達成率(%)	98	89	76	
				目標値				
				実績(見込)				
算出根拠等			達成率(%)					
			目標値					
			実績(見込)					
算出根拠等			達成率(%)					
補足								

3 分析・評価(Check)

H24決算における分析・評価で明らかになった課題	<ul style="list-style-type: none"> ・高山市の東の玄関口として高山市のイメージアップを図るため事業を継続していく必要があるが、事業規模を維持していくためには予算の確保が必要である。 ・花いっぱい運動参加団体の一部には、会員の高齢化により植栽管理が困難となるケースがある。
--------------------------	--

4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH25対応状況	<ul style="list-style-type: none"> ・「花いっぱい運動」に対しては、当該地域振興特別予算の他、一般会計による補助金(市民憲章推進事業補助金、特色ある地区活動事業補助金)が直接・間接に助成されており、地域振興特別予算の終期も踏まえた助成の在り方を検討するとともに、事業規模などについても検討する。 	
次年度の実施方針	<input checked="" type="radio"/> 維持・改善 <input type="radio"/> 拡大 <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 廃止検討	高山市の東の玄関口として、多くの観光客が往来する丹生川地域の環境美化のみではなく、高山市のイメージアップにつながっていく事業であり、今後も継続して実施していく。
	<input checked="" type="radio"/> 維持・改善 <input type="radio"/> 拡大 <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 廃止検討	

コスト面

コスト指標	事業費(人件費を除き、繰越・補正を含む)		H23 決算額	H24 決算額	H25 予算額	H26 予算要求額
	歳出(千円)		(A) 5,955	5,300	5,000	5,468
	受益者1件当たり(円)		(A/B) 76,346	74,648	62,500	79,246
	受益者	審査会参加団体数	(B) 78	71	80	69

5 予算編成(Action2)

事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・コスモス街道(キバナコスモス)植栽 ・花いっぱい運動の推進(参加者予定団体 80団体) ・審査会(参加者予定団体 69団体) 	要求のポイント	国道158号線沿線のコスモス街道の整備	事業実施の課題	花いっぱい運動参加団体のうち、会員の高齢化により植栽管理が困難になる団体もあり、実態を調査する必要がある。	市民活動推進課	地域社会教育推進事業は、花いっぱい運動にかかる経費として全支所地域において計上されているが、予算措置の内容は花苗等の購入のほか肥料や資材の購入、花壇の管理委託など地域によって異なっている。今後、協働のまちづくりの議論の中で、事業の必要性や取り組み方法等について検討する必要がある。	地域政策課	平成27年度以降は市の関わり方を整理し、地域づくりの観点から市が実施すること地域で実施することの整理が必要である。製作する看板については、平成27年度以降の管理区分を明確にしておくこと
------	---	---------	---------------------	---------	---	---------	--	-------	--

事業費(人件費除く)		H25当初予算額	H26予算要求額	増減	財務部調整額	市長査定額	財務部調整の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)		5,000	5,468	468	4,600	4,600	花壇看板製作は地域要望対応事業にて対応	・財務部査定のとおり
財源内訳	国庫支出金			0				
	県支出金			0				
	その他			0				
	一般財源	5,000	5,468	468	4,600	4,600		

平成26年度 事業別予算概要(地域振興特別予算)

事業名	94699	地域芸能文化振興事業 (地域芸能文化活動助成事業)	予算	会計	1	一般会計	特別 予算の 位置 付け	A	合併前から実施されているイベント・行事	根拠計画	地域振興計画	市長公約	9	伝統文化を守り、次代へ継承します ・芸術文化の振興を積極的に支えます
	種別			9	教育費	○		B	一般予算の上乗せとして実施されている事業					
担当課	丹生川支所 地域振興課	内線	3121	項	4	社会教育費		C	終期を定めて実施する事業・単年度事業	H26計画額	300 千円			
				目	6	文化振興費		D	その他事業					

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	地域住民	どうしたいのか(意図)	丹生川地区社会教育運営委員会が主体となり、文化活動の一環である「文化展」と芸能活動の一環である「芸能祭」を開催し、地域に根付いた芸能文化の振興を図る。	概要	事業の実施手法(手段)	丹生川地区社教が実施する文化活動の一環である「文化展」と芸能活動の一環である「芸能祭」の開催費用の一部を補助する。
	対象者数	4,573					

2 事業の推移・結果(Do)

H24実績	文化展、芸能祭の開催各1回							
活動指標	文化展の開催		回	目標値	1	1	1	1
	実績(見込)			1	1	1	1	
算出根拠等			達成率(%)	100	100	100		
活動指標	芸能祭の開催		回	目標値	1	1	1	1
	実績(見込)			1	1	1	1	
算出根拠等			達成率(%)	100	100	100		
成果指標	文化展参加人数		人	目標値	450	450	450	450
	実績(見込)			387	350	450		
算出根拠等			達成率(%)	86	78	100		
成果指標	芸能祭の参加人数		人	目標値	500	500	500	500
	実績(見込)			600	600	500		
算出根拠等			達成率(%)	120	120	100		
補足				目標値				
				実績(見込)				
算出根拠等			達成率(%)					

3 分析・評価(Check)

H24決算における分析・評価で明らかになった課題	・地域芸能文化の振興発展に大きく寄与しており今後も支援が必要である。 ・文化展、芸能祭への出展者、出演者が固定化、高齢化している。
--------------------------	--

4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH25対応状況	・他地域の芸能文化活動の内容や自主財源に基づく活動内容を参考に助成のありかたについて検討する。 ・小中学校への文化展、芸能祭の開催についてPRをし、児童生徒の意識高揚を図る。
次年度の実施方針	<input checked="" type="radio"/> 維持・改善 <input type="radio"/> 拡大 <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 廃止検討 <input checked="" type="radio"/> 維持・改善 <input type="radio"/> 拡大 <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 廃止検討
地域芸能文化の振興発展に大きく寄与しており、活動の継続性に配慮しながら助成内容について検討する。	
特別期間終了を見据え、市全体のバランスを考慮し、縮小(廃止)を検討する必要がある。 ・他の事業との関係の整理、助成のあり方・事業費規模などについて検討する必要がある。	

コスト面

コスト指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)	H23 決算額	H24 決算額	H25 予算額	H26 予算要求額
	歳出(千円)	(A)	300	300	300
	受益者1件当たり(円)	(A/B)	65	65	66
	受益者	(B)	4,643	4,629	4,573

5 予算編成(Action2)

事業内容	文化展、芸能祭の開催のための助成。	要求のポイント	事業実施の課題	支所	文化展、芸能祭の参加者(出展者)を拡充する必要がある。	生涯学習課 地域政策課	・地域文化振興事業は、地域の公民館等において開催される文化祭・芸能祭、文化講演会等に対する助成として全支所地域において実施しているが、地域により、内容・実施主体・助成割合等が異なっている。今後、協働のまちづくりの議論の中で、事業の必要性や取り組み方法等について検討する必要がある。 ・また、文化芸術鑑賞事業等一般予算で行っている文化振興事業と地域文化振興事業との関係についても整理する必要がある。
							平成27年度以降は、地域の自主運営となる仕組みづくりが必要である。

事業費(人件費除く)	H25当初予算額	H26予算要求額	増減	財務部調整額	市長査定額	財務部調整の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)	300	300	0	300	300	・要求どおり	・財務部査定のとおり
財源内訳							
国庫支出金			0				
県支出金			0				
その他			0				
一般財源	300	300	0	300	300		

平成26年度 事業別予算概要(地域振興特別予算)

事業名	94699	地域芸能文化振興事業 (丹生川文化ホール自主事業)	会計	1	一般会計	特別 予算の 位置 付け	A	合併前から実施されているイベント・行事	根拠計画	地域振興計画	市長公約	9	伝統文化を守り、次代へ継承します ・芸術文化の振興を積極的に支えます
種別			款	9	教育費		○	B					
担当課	丹生川支所 地域振興課	内線	項	4	社会教育費		C	終期を定めて実施する事業・単年度事業	H26計画額	1,500 千円			
		3121	目	6	文化振興費		D	その他事業					

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	地域住民	どうしたいのか(意図)	著名な芸能人のコンサートや演劇等の公演の機会に触れ、地域住民の芸能文化の振興を図る。	概要	事業の実施手法(手段)	地域住民が主体となって事業が推進されるよう、丹生川地区社会教育運営委員会への事業補助として実施。
	対象者数	4,573					

2 事業の推移・結果(Do)

H24実績	・ファンカッション(パーカッション)打楽器ショー 10月20日(土) 447名 ・ゴスペルメッセンジャーズコンサート 11月23日(祝) 347名								
成果 指標	指標名		単位	目標・実績	H23	H24	H25	H26	
	活動 指標	自主事業開催回数		回	目標値	2	2	2	2
		実績(見込)			実績(見込)	2	2	2	
		算出根拠等			達成率(%)	100	100	100	
	成果 指標	入場者数(延べ人数)		人	目標値	1,000	1,000	1,000	1,000
		実績(見込)			実績(見込)	1,142	794	1,000	
		算出根拠等			達成率(%)	114	79	100	
	補足				目標値				
					実績(見込)				
		算出根拠等			達成率(%)				

3 分析・評価(Check)

H24決算における分析・評価で明らかになった課題	・市内に類似施設が数か所あるため催し物の調整を行い、開催日も検討して市全体のバランスを考慮して実施する必要がある。。
--------------------------	--

4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH25対応状況	・事業収入だけでは自主事業の開催が難しく、市民の希望する質の高い公演等を開催するため催し物の内容、開催日を検討する。
担当課評価	維持・改善 <input type="radio"/> 拡大 <input checked="" type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 廃止検討
二次評価	<input checked="" type="radio"/> 維持・改善 <input type="radio"/> 拡大 <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 廃止検討

コスト面

コスト 指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)	H23 決算額	H24 決算額	H25 予算額	H26 予算要求額
	歳出(千円)	(A)	2,500	2,000	2,000
	受益者1件当たり(円)	(A/B)	538	432	437
	受益者	地域住民	(B)	4,643	4,629

5 予算編成(Action2)

事業内容	地区社教が実施する文化芸能事業に対する助成	要求のポイント	地域住民が身近な施設で演劇等の公演の機会を得る貴重な事業の提供	事業実施の課題	支所 入場者数の拡大を図るため、市民のニーズを的確に捉えた公演等を開催する必要がある。 生涯学習課 地域文化振興事業は、地域の公民館等において開催される文化祭・芸能祭、文化講演会等に対する助成として全支所地域において実施しているが、地域により、内容・実施主体・助成割合等が異なっている。今後、協働のまちづくりの議論の中で、事業の必要性や取り組み方法等について検討する必要がある。 ・また、文化芸術鑑賞事業等一般予算で行っている文化振興事業と地域文化振興事業との関係についても整理する必要がある。 地域政策課 平成27年度以降は、地域の自主運営となる仕組みづくりが必要である。
------	-----------------------	---------	---------------------------------	---------	--

事業費(人件費除く)		H25当初予算額	H26予算要求額	増減	財務部調整額	市長査定額	財務部調整の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)		2,000	2,000	0	2,000	2,000	・要求どおり	・財務部査定のとおり
財源内訳	国庫支出金			0				
	県支出金			0				
	その他			0				
	一般財源	2,000	2,000	0	2,000	2,000		

平成26年度 事業別予算概要(地域振興特別予算)

事業名	94799	文化財標柱等設置事業	会計	1	一般会計	特別 予算の 位置 付け	A	合併前から実施されているイベント・行事	根拠計画	地域振興計画	市長公約	9	伝統文化を守り、次代へ継承します。 ・国内外から訪れる多くの観光客に名所旧跡、文化財等を分かりやすく紹介するため、パンフレット、説明番頭の整備や、人と人のつながりを大切に語り部の育成に取り組めます。
種別			款	9	教育費		○	B					
担当課	丹生川支所 地域振興課	内線	項	4	社会教育費		C	終期を定めて実施する事業・単年度事業	H26計画額	900 千円			
		3121	目	7	文化財費		D	その他事業					

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	全市民	どうしたいのか(意図)	文化財標柱の設置により、市民に対する市指定文化財の周知を行い、文化財に対する理解と保護意識の高揚を図る。	概要	事業の実施手法(手段)	丹生川町内に存在する文化財について、高山市の指定文化財標柱を整備し、文化財の周知及び文化財保護の啓発を行う。
	対象者数	92,097 人					

2 事業の推移・結果(Do)

H24実績	文化財石柱設置4基。							
成果 指標	指標名		単位	目標・実績	H23	H24	H25	H26
	標柱設置箇所数	箇所	目標値	6	4	6	6	
			実績(見込)	6	4	6		
			達成率(%)	100	100	100		
	算出根拠等		目標値					
			実績(見込)					
			達成率(%)					
	算出根拠等		目標値					
			実績(見込)					
			達成率(%)					
	算出根拠等		目標値					
			実績(見込)					
			達成率(%)					
	算出根拠等		目標値					
			実績(見込)					
			達成率(%)					
算出根拠等		目標値						
		実績(見込)						
		達成率(%)						
算出根拠等		目標値						
		実績(見込)						
		達成率(%)						
算出根拠等		目標値						
		実績(見込)						
		達成率(%)						
補足								

3 分析・評価(Check)

H24決算における分析・評価で明らかになった課題	所有者の中には、盗難等に対する心配から設置を希望しない場合がある。
--------------------------	-----------------------------------

4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH25対応状況	設置を希望しない所有者の承諾を得られるように交渉していく。
次年度の 実施方針	<input checked="" type="radio"/> 維持・改善 <input type="radio"/> 拡大 <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 廃止検討 <input checked="" type="radio"/> 維持・改善 <input type="radio"/> 拡大 <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 廃止検討
	・古い標柱は木製であり、腐食が進んでいるため、文化財の状況確認の中で随時更新していく必要がある。 ・平成26年度には終了する。 (担当課評価に同じ)

コスト面

コスト 指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)	H23 決算額	H24 決算額	H25 予算額	H26 予算要求額
	歳出(千円)	(A) 734	756	900	900
	受益者1件当たり(円)	(A/B) 8	8	10	10
	受益者	(B) 93,312	92,861	92,097	92,097

5 予算編成(Action2)

事業内容	指定文化財標柱の設置 6基。	要求の ポイント	文化財の周知及び文化財保護の啓発	事業 実施の 課題	支所 石柱等の設置について 文化財所有者の承諾を得られるよう交渉し、更新を行う。	文化 財課 地域 政策 課	文化財標柱・説明看板の設置は文化財保存や啓発の観点から必要であり、設置計画に基づき計画的に設置を進める必要がある。 平成27年度以降は、市が取り組む事業として事業精査が必要である。
------	----------------	-------------	------------------	-----------------	---	---------------------------	---

事業費(人件費除く)	H25当初予算額	H26予算要求額	増 減	財務部調整額	市長査定額	財務部調整の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)	900	900	0	900	900	・要求どおり	・財務部査定のとおり
財源内訳							
国庫支出金			0				
県支出金			0				
その他			0				
一般財源	900	900	0	900	900		

平成26年度 事業別予算概要(地域振興特別予算)

事業名	95199	地域スポーツ振興事業	会計	1	一般会計	特別 予算の 位置 付け	A	合併前から実施されているイベント・行事	根拠計画	地域振興計画	市長公約	4 個人・家庭・地域を大切に する社会を築きます	
種別			款	9	教育費		○	B					一般予算の上乗せとして実施されている事業
担当課	丹生川支所 地域振興課		項	5	保健体育費			C					終期を定めて実施する事業・単年度事業
内線	3121		目	1	体育総務費			D					その他事業
H26計画額										900 千円			

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	地域住民	どうしたいのか(意図)	誰もが参加できるスポーツ大会を町内で開催することにより、限られた人だけでなく、普段スポーツ活動をしていない人の参加を促進し、地域のスポーツ振興を図る。スポーツ大会に向けた日々の練習により、健全なからだづくりにつながる。また絆もより一層深めることができる。	概要	事業の実施手法(手段)	丹生川町内で地域対抗等の体育大会を開催する。春季大会(屋外球技)、夏季大会(屋外競技)、秋季大会(軽スポーツ)、冬季大会(屋内競技・屋外競技) 全13種目
対象者数		4,573					

2 事業の推移・結果(Do)

H24実績	13種目のスポーツ大会の開催。							
成果面	指標名		単位	目標・実績	H23	H24	H25	H26
	活動指標	体育大会の開催	種目	目標値	13	13	13	13
				実績(見込)	13	13	13	
				算出根拠等	達成率(%)	100	100	100
	成果指標	大会延べ参加者数	人	目標値	1,500	1,500	1,500	1,500
				実績(見込)	1,303	1,488	1,500	
				算出根拠等	達成率(%)	87	99	100
	成果面			目標値				
				実績(見込)				
				算出根拠等	達成率(%)			
	成果面			目標値				
				実績(見込)				
				算出根拠等	達成率(%)			
補足			目標値					
			実績(見込)					
			算出根拠等	達成率(%)				

3 分析・評価(Check)

H24決算における分析・評価で明らかになった課題	・地域住民のスポーツ振興を継続していくために、自主財源(受益者負担)での開催を検討する必要がある。 ・幅広く参加者を集めるためのPRや運営を工夫する必要がある。
--------------------------	---

4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH25対応状況	・自主財源(受益者負担)での開催を検討する必要がある。 ・公民館役員を通じ、幅広い年代層を募集する。																											
次年度の実施方針	<table border="1"> <tr> <td>担</td> <td>○</td> <td>維持・改善</td> </tr> <tr> <td>次</td> <td></td> <td>拡大</td> </tr> <tr> <td>年</td> <td></td> <td>縮小</td> </tr> <tr> <td>度</td> <td></td> <td>廃止検討</td> </tr> <tr> <td>の</td> <td></td> <td>維持・改善</td> </tr> <tr> <td>実</td> <td>○</td> <td>拡大</td> </tr> <tr> <td>施</td> <td></td> <td>縮小</td> </tr> <tr> <td>方</td> <td></td> <td>廃止検討</td> </tr> <tr> <td>針</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	担	○	維持・改善	次		拡大	年		縮小	度		廃止検討	の		維持・改善	実	○	拡大	施		縮小	方		廃止検討	針		
担	○	維持・改善																										
次		拡大																										
年		縮小																										
度		廃止検討																										
の		維持・改善																										
実	○	拡大																										
施		縮小																										
方		廃止検討																										
針																												
二次評価	・特別期間終了を見据え、市全体のバランスを考慮し、縮小(廃止)を検討する必要がある。																											

コスト面

コスト指標	事業費(人件費を除き、繰越・補正を含む)		H23 決算額	H24 決算額	H25 予算額	H26 予算要求額
	歳出(千円)		(A)	900	900	900
	受益者1件当たり(円)		(A/B)	194	194	197
	受益者	地域住民	(B)	4,643	4,629	4,573

5 予算編成(Action2)

事業内容	丹生川町内で開催される地区対抗等の体育大会の開催経費の助成	要求のポイント	事業実施の課題	支出	自主財源(受益者負担)での開催の方向性を検討する。	スポーツ推進課	地域スポーツ振興事業は、地域の特性に応じた各種大会の開催や地域におけるスポーツ活動の推進等に対する助成として全支所地域において地域振興特別予算に計上されている。今後、協働のまちづくりにより、各地区社教等が事業を自主運営していくことができる仕組みづくりを検討する必要がある。
						地域政策課	平成27年度以降は、地域の自主運営となる仕組みづくりが必要である。

事業費(人件費除く)		H25当初予算額	H26予算要求額	増減	財務部調整額	市長査定額	財務部調整の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)		900	900	0	900	900	・要求どおり	・財務部査定のとおり
財源内訳	国庫支出金			0				
	県支出金			0				
	その他			0				
	一般財源	900	900	0	900	900		

平成26年度 事業別予算概要(地域振興特別予算)

事業名	20899	旧ホテル乗鞍解体整備事業	内線	3111	特別 予算の 位置 付け	会計	1	一般会計	A	合併前から実施されているイベント・行事	根拠計画	地域振興計画	市長公約	10 市民のための行政改革を断行します。 市の施設や支所の改修利用を進めるほか、遊休施設・土地など有効活用を行います。
種別						款	2	総務費	B	一般予算の上乗せとして実施されている事業				
担当課	丹生川支所 地域振興課					項	1	総務管理費	○	C	終期を定めて実施する事業・単年度事業	H26計画額	20,000 千円	
						目	8	財産管理費		D	その他事業			

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	特定対象者なし	どうしたいのか(意図)	使用されていない構築物・建物等の処分。	概要	事業の実施手法(手段)	不用構築物、建物等の処分解体を行う。
	対象者数	0					

2 事業の推移・結果(Do)

H24実績		旧ホテル乗鞍内の備品等の処分					
成果指標	指標名	単位	目標・実績	H23	H24	H25	H26
	成果指標	旧ホテル乗鞍内の備品等の処分	件	目標値		1	
			実績(見込)		1		
算出根拠等			達成率(%)		100		
成果指標	構築物、建物等の解体処分	件	目標値				1
			実績(見込)				
	算出根拠等		達成率(%)				
成果指標			目標値				
			実績(見込)				
	算出根拠等		達成率(%)				
成果指標			目標値				
			実績(見込)				
	算出根拠等		達成率(%)				
成果指標			目標値				
			実績(見込)				
	算出根拠等		達成率(%)				
補足							

3 分析・評価(Check)

H24決算における分析・評価で明らかになった課題	
--------------------------	--

4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH25対応状況		
次年度の実施方針	担当課評価	維持・改善 拡大 縮小 廃止検討
	二次評価	維持・改善 拡大 縮小 廃止検討

コスト面

コスト指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)		H23 決算額	H24 決算額	H25 予算額	H26 予算要求額
		歳出(千円)	(A)	0	1,123	0
	受益者1件当たり(円)	(A/B)				
	受益者	(B)	0	0	0	0

5 予算編成(Action2)

事業内容	今後の活用方法もなく、老朽化により危険な状態であるため、旧ホテル乗鞍建物及び構築物の解体処分をする	要求のポイント	周囲の景観改善と安全確保を図る。	事業実施の課題	解体後の土地の有効活用及び公売等を検討する必要がある。	管財課	景観保全や安全対策等のため解体すべきと考える。 なお、跡地について有効活用(売却含む)の検討が必要である。
						地域政策課	

事業費(人件費除く)		H25当初予算額	H26予算要求額	増減	財務部調整額	市長査定額	財務部調整の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)			20,508	20,508	21,900	21,900	・積算内容を精査	・財務部査定のとおり
財源内訳	国庫支出金			0				
	県支出金			0				
	その他			0				
	一般財源		20,508	20,508	21,900	21,900		

平成26年度 事業別予算概要(地域振興特別予算)

事業名	94799	平湯峠若山牧水歌碑周辺整備事業	会計	1	一般会計	特別 予算の 位置 付け	A	合併前から実施されているイベント・行事	根拠計画	地域振興計画	市長公約	1 積極的な観光振興策を実施します。 ・合併後の周辺の自然環境や地域特有の伝統文化など多様な観光資源を新たな観光資源として積極的に活用します。 ・高山市を訪れる年間観光客500万人、外国人観光客30万人を目指します。	
種別			款	6	商工費		B	一般予算の上乗せとして実施されている事業					
担当課	丹生川支所 基盤産業課		内線	3131	項		2	観光費	C	終期を定めて実施する事業・単年度事業			H26計画額
		目	3	自然公園費	D		その他事業						

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	観光客及び市民	どうしたいのか(意図)	平湯峠「若山牧水歌碑」周辺の整備	概要	事業の実施手法(手段)	平湯峠「若山牧水歌碑」周辺の整備、平湯峠の説明看板の設置
	対象者数	1,650,000 人					

2 事業の推移・結果(Do)

H24実績		指標名	単位	目標・実績	H23	H24	H25	H26
成果 指標	平湯峠「若山牧水歌碑」周辺の整備	算出根拠等	件	目標値				1
				実績(見込)				
				達成率(%)				
	算出根拠等	算出根拠等	算出根拠等	目標値				
				実績(見込)				
				達成率(%)				
	算出根拠等	算出根拠等	算出根拠等	目標値				
				実績(見込)				
				達成率(%)				
	算出根拠等	算出根拠等	算出根拠等	目標値				
				実績(見込)				
				達成率(%)				
算出根拠等	算出根拠等	算出根拠等	目標値					
			実績(見込)					
			達成率(%)					
算出根拠等	算出根拠等	算出根拠等	目標値					
			実績(見込)					
			達成率(%)					
算出根拠等	算出根拠等	算出根拠等	目標値					
			実績(見込)					
			達成率(%)					
算出根拠等	算出根拠等	算出根拠等	目標値					
			実績(見込)					
			達成率(%)					
補足								

3 分析・評価(Check)

H24決算における分析・評価で明らかになった課題	
--------------------------	--

4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH25対応状況		
次年度の実施方針	担当課評価	維持・改善
		拡大
		縮小
		廃止検討
	二次評価	維持・改善
		拡大
	縮小	
	廃止検討	

コスト面

コスト指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)		H23 決算額	H24 決算額	H25 予算額	H26 予算要求額	
	歳出(千円)		(A)	0	0	0	1,296
	受益者1件当たり(円)		(A/B)				1
	受益者	観光客及び市民	(B)	0	0	0	1,650,000

5 予算編成(Action2)

事業内容	平湯峠「若山牧水歌碑」周辺の整備、平湯峠の説明看板の設置	要求のポイント	歴史的価値を示す説明表示の整備	事業実施の課題	支所 乗鞍岳周辺を訪れた観光客に対し、立ち寄りスポットとしての知名度を上げるよう周知する必要がある	観光課	整備後の活用策を検討する必要がある。
						地域政策課	同上

事業費(人件費除く)		H25当初予算額	H26予算要求額	増減	財務部調整額	市長査定額	財務部調整の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)			1,296	1,296	1,300	1,300	・積算内容を精査	・財務部査定のとおり
財源内訳	国庫支出金			0				
	県支出金			0				
	その他			0				
	一般財源		1,296	1,296	1,300	1,300		

平成26年度 事業別予算概要(地域振興特別予算)

事業名	62499	乗鞍公園線望岳台展望台整備事業	会計	1	一般会計	特別 予算の 位置 付け	A	合併前から実施されているイベント・行事	根拠計画	市長公約	1 積極的な観光振興策を実施します。 ・合併後の周辺の自然環境や地域特有の伝統文化など多様な観光資源を新たな観光資源として積極的に活用します。 ・高山市を訪れる年間観光客500万人、外国人観光客30万人を目指します。		
種別			款	6	商工費		B	一般予算の上乗せとして実施されている事業					
担当課	丹生川支所 地域振興課		内線	項	2		観光費	○	C			終期を定めて実施する事業・単年度事業	H26計画額
		3112	目	3	自然公園費			D	その他事業				

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	観光客及び市民	どうしたいのか(意図)	乗鞍公園線望岳台展望台の修繕	概要	事業の実施手法(手段)	乗鞍公園線望岳台展望台の危険箇所の修繕
	対象者数	1,650,000 人					

2 事業の推移・結果(Do)

H24実績		指標名	単位	目標・実績	H23	H24	H25	H26
活動指標	乗鞍公園線望岳台展望台の修繕	目標値	件					1
		実績(見込)						
		算出根拠等		達成率(%)				
成果面		目標値						
		実績(見込)						
		算出根拠等		達成率(%)				
補足		目標値						
		実績(見込)						
		算出根拠等		達成率(%)				

3 分析・評価(Check)

H24決算における分析・評価で明らかになった課題

4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH25対応状況		
次年度の実施方針	担当課評価	維持・改善 拡大 縮小 廃止検討
	二次評価	維持・改善 拡大 縮小 廃止検討

コスト面

コスト指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)		H23 決算額	H24 決算額	H25 予算額	H26 予算要求額	
	歳出(千円)		(A)	0	0	0	1,123
	受益者1件当たり(円)		(A/B)				1
	受益者	観光客及び市民	(B)				1,650,000

5 予算編成(Action2)

事業内容	乗鞍公園線望岳台展望台の修繕	要求のポイント	事業実施の課題	支所	乗鞍岳周辺を訪れた観光客に対し、立ち寄りスポットとしての知名度を上げるよう周知する必要がある	環境政策推進課 地域政策課	望岳台展望台については、乗鞍自動車利用適正化協議会で検討している早期開通の課題や乗鞍岳の自然保護と地域振興のバランスの方向性等、適正化方針との足並みを揃えてすすめる必要がある。
------	----------------	---------	---------	----	--	------------------	--

事業費(人件費除く)		H25当初予算額	H26予算要求額	増減	財務部調整額	市長査定額	財務部調整の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)			1,123	1,123	1,200	1,200	要求どおり	・財務部査定のとおり
財源内訳	国庫支出金			0				
	県支出金			0				
	その他			0				
	一般財源		1,123	1,123	1,200	1,200		

平成26年度 事業別予算概要(地域振興特別予算)

事業名	81399	地域消防施設振興事業	予算	会計	1	一般会計	特別 予算の 位置 付け	A	合併前から実施されているイベント・行事	根拠計画	市長公約
種別				款	8	消防費		B	一般予算の上乗せとして実施されている事業		
担当課	丹生川支所 地域振興課	内線	1	消防費	○	C		終期を定めて実施する事業・単年度事業	H26計画額	千円	
		3113	目	3	消防施設費	D		その他事業			

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	丹生川地域住民	どうしたいのか(意図)	不要となっている消防団の火の見櫓を解体撤去する。	概要	事業の実施手法(手段)	解体撤去工事
	対象者数	4,573 人					

2 事業の推移・結果(Do)

H24実績	無し								
成果面	指標名		単位	目標・実績	H23	H24	H25	H26	
	活動指標	不要となっている消防団の火の見櫓を解体撤去		基	目標値				3
		実績(見込)							
		算出根拠等			達成率(%)				
					目標値				
		実績(見込)							
		算出根拠等			達成率(%)				
					目標値				
		実績(見込)							
		算出根拠等			達成率(%)				
					目標値				
		実績(見込)							
算出根拠等		達成率(%)							
				目標値					
	実績(見込)								
	算出根拠等			達成率(%)					
補足				目標値					
	実績(見込)								
	算出根拠等			達成率(%)					

3 分析・評価(Check)

H24決算における分析・評価で明らかになった課題	
--------------------------	--

4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH25対応状況	解体撤去の対象となる火の見櫓の現地確認を行った。	
次年度の 実施方針	担当課評価	維持・改善
		拡大
		縮小
	<input checked="" type="radio"/>	廃止検討
二次評価		維持・改善
		拡大
		縮小
		廃止検討

コスト面

コスト指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)		H23 決算額	H24 決算額	H25 予算額	H26 予算要求額
	歳出(千円)		(A)			3,272
	受益者1件当たり(円)		(A/B)			1
	受益者	丹生川地域住民	(B)			4,573

5 予算編成(Action2)

事業内容	不要となっている消防団火の見櫓を解体撤去する。 高山市消防団丹生川支団第4分団第1班(荒城班)の所管地域内 ① 丹生川町折敷地 ② 丹生川町呂瀬金山 ③ 丹生川町三之瀬	要求のポイント	事業実施の課題	消防総務課 地域政策課
			火の見櫓が設置されている敷地は民有地を無償で使用しているため、解体撤去の理解と敷地の返却について同意を得る。	施設撤去後の敷地返還

事業費(人件費除く)		H25当初予算額	H26予算要求額	増減	財務部調整額	市長査定額	財務部調整の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)		0	3,272	3,272	3,000	3,000	精算内容を精査	・財務部査定のとおり
財源内訳	国庫支出金							
	県支出金							
	その他							
	一般財源	0	3,272	3,272	3,000	3,000		

平成26年度 事業別予算概要(地域振興特別予算)

事業名	91499	中学校部活動生徒送迎事業	会計	1	一般	特別 予算の 位置 付け	A	合併前から実施されているイベント・行事	根拠計画	地域振興計画	市長公約
	種別			9	教育費		B	一般予算の上乗せとして実施されている事業			
担当課	丹生川支所 地域振興課	内線	予算	1	教育総務費	○	C	終期を定めて実施する事業・単年度事業	H26計画額	500 千円	
				3121	3		スクールバス管理費	D			

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	丹生川中学校生徒	どうしたい のか (意図)	土曜日に部活動用の生徒送迎バスを運行することにより、遠距離の生徒も部活動に参加できるようにする。	概要	事業の実施 手法(手段)	土曜日に行う部活動用にスクールバスの運行を行う。東部地区、荒城地区の2台運行。
	対象者数	32 人					

2 事業の推移・結果(Do)

H24実績	運行回数30回、1日の利用生徒数35人							
成果面	指標名		単位	目標・実績	H23	H24	H25	H26
	活動指標	運行回数	回	目標値	20	30	30	30
				実績(見込)	20	30	30	
				算出根拠等	達成率(%)	100	100	100
	成果指標	1日の利用生徒数	人	目標値	38	35	32	35
				実績(見込)	38	35	32	
				算出根拠等	達成率(%)	100	100	100
				目標値				
				実績(見込)				
				算出根拠等	達成率(%)			
				目標値				
				実績(見込)				
算出根拠等				達成率(%)				
			目標値					
			実績(見込)					
			算出根拠等	達成率(%)				
補足								

3 分析・評価(Check)

H24決算における 分析・評価で 明らかになった課題	・経費や生徒の利用面から現状維持が適切である。
----------------------------------	-------------------------

4 今後の方向性(Action)

課題等に対する H25対応状況	・機能低下にならないように公共交通の利用も含め検討する。	
次年度の実施方針	○ 維持・改善	現状を維持する。
	□ 拡大	
	□ 縮小	
	□ 廃止検討	
○ 維持・改善	・スクールバスとのマイカー等の公共交通の効率的な運行を含め、全市的に対応を検討する必要がある。	
□ 拡大		
□ 縮小		
□ 廃止検討		

コスト面

コスト 指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)		H23 決算額	H24 決算額	H25 予算額	H26 予算要求額	
	歳出(千円)		(A)	496	396	410	427
	受益者1件当たり(円)		(A/B)	653	374	427	407
	受益者	延べ利用生徒数	(B)	760	1,060	960	1,050

5 予算編成(Action2)

事業内容	土曜日の部活動用スクールバスの運行 (東部地区、荒城地区)	要求の ポイント	事業実施の 課題	教育 総務課 地域 政策課
			利用者の需要に合わせ運行日程を調整し、有効に運営する。	遠距離通学が必要な地域性を考慮し、今後も実施する。 なお、公共交通事業等の活用及び部活のあり方を精査のうえ、全市的に検討することとする。 平成27年度以降は、市が取り組む事業として事業精査が必要である。

事業費(人件費除く)		H25当初予算額	H26予算要求額	増減	財務部調整額	市長査定額	財務部調整の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)		410	427	17	410	410	・積算内容を精査し、前年並み事業費とする	・財務部査定のとおり
財源 内訳	国庫支出金			0				
	県支出金			0				
	その他			0				
	一般財源	410	427	17	410	410		

平成26年度 事業別予算概要(地域振興特別予算)

事業名	92299	地域小学校教育振興事業 (南知多町交流推進事業)	予算	会計	1	一般会計	特別 予算の 位置 付け	A	合併前から実施されているイベント・行事	根拠計画	地域振興計画	市長公約	8	豊かな自然を守り、環境モデル都市を作ります。 ◎環境教育を推進します。
種別				款	9	教育費		B	一般予算の上乗せとして実施されている事業					
担当課	丹生川支所 地域振興課		内線	項	2	小学校費	C	終期を定めて実施する事業・単年度事業	H26計画額	600 千円				
			3121	目	2	教育振興費	D	その他事業						

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	丹生川小学校4年生	どうしたいのか(意図)	環境の異なる子供たちとの交流や地元の人達の生活を体験することにより、児童の視野を広げ豊かな人間性を育む。	概要	事業の実施手法(手段)	平成3年度より南知多町の小学校と交流を実施。 ①南知多町の小学校との交流 丹生川小学校4年生49名。 ②地域生活体験、地引網等の体験。
	対象者数	49					

2 事業の推移・結果(Do)

H24実績	参加児童数63名。						
活動指標	指標名	単位	目標・実績	H23	H24	H25	H26
	実施回数	回	目標値	1	1	1	1
成果指標	算出根拠等		実績(見込)	1	1	1	
	参加児童数	人	達成率(%)	100	100	100	
成果指標	算出根拠等		目標値	44	63	49	38
			実績(見込)	44	63	49	
成果指標	算出根拠等		達成率(%)	100	100	100	
			目標値				
成果指標	算出根拠等		実績(見込)				
			達成率(%)				
成果指標	算出根拠等		目標値				
			実績(見込)				
成果指標	算出根拠等		達成率(%)				
			目標値				
成果指標	算出根拠等		実績(見込)				
			達成率(%)				
補足							

3 分析・評価(Check)

H24決算における分析・評価で明らかになった課題	学校ごとに事業内容が異なるため、全市的な均衡を図り、参加者負担も含め一般会計への移行を検討する必要がある。
--------------------------	---

4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH25対応状況	参加者負担も含め学校行事として実施するなど、今後の実施方法を検討する。	
次年度の実施方針	○維持・改善 □拡大 □縮小 □廃止検討	平成27年度を機に廃止を検討する。
	○維持・改善 ○拡大 ○縮小 □廃止検討	特別期間終了を見据え、市全体のバランスを考慮し、縮小(廃止)を検討する必要がある。

コスト面

コスト指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)	H23 決算額	H24 決算額	H25 予算額	H26 予算要求額
	歳出(千円)	(A)	600	600	600
	受益者1件当たり(円)	(A/B)	13,636	9,524	12,245
	受益者	(B)	44	63	49

5 予算編成(Action2)

事業内容	丹生川小学校4年生児童と南知多町の小学校との交流事業費に対する助成	要求のポイント	事業実施の課題	支所	参加者負担も含め今後の実施方法を検討する必要がある。	学校教育課 地域政策課	特定地域の学校による他地域との交流事業に対する取組方針を定める必要がある。 平成27年度以降は、地域の自主運営となる仕組みづくりが必要である。
------	-----------------------------------	---------	---------	----	----------------------------	----------------	--

事業費(人件費除く)		H25当初予算額	H26予算要求額	増減	財務部調整額	市長査定額	財務部調整の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)		600	600	0	600	600	・要求どおり	・財務部査定のとおり
財源内訳	国庫支出金			0				
	県支出金			0				
	その他			0				
	一般財源	600	600	0	600	600		

平成26年度 事業別予算概要(地域振興特別予算)

事業名	20999	地域振興助成事業	会計	1	一般会計	特別 予算の 位置 付け	A	合併前から実施されているイベント・行事	根拠計画	地域振興計画	市長公約	合併のメリットを生かしつつ、それぞれの地域の特性をのばします。 ・地域の個性あるまちづくりと、市民の一体感を創るため、地域が手を取り合っ て取り組む活動に支援します。
種別			款	2	総務費		B	一般予算の上乗せとして実施されている事業				
担当課	丹生川支所 地域振興課	内線	3112	項	1		総務管理費	C	終期を定めて実施する事業・単年度事業			
								目	9	企画費		
H26計画額										5,000 千円		

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	丹生川地域住民	どうしたい のか (意図)	・地域住民の連帯感を強化することができる ・自主的に動く人材を育成することができる ・地域の課題を解決することができる	概要	事業の実施 手法(手段)	・地域住民が自主的、主体的に取り組む公共性の高い地域づくり事業に対し補助金を交付する
	対象者数	4,573					

2 事業の推移・結果(Do)

H24実績		・町内会連合会、地域審議会において補助制度を周知し、制度の利用を促進 ・各団体、町内会等より申請があった事業に対し運営の指導等を行い、16件の事業に対し補助							
成果 指 標	指標名		単位	目標・実績	H23	H24	H25	H26	
	補助対象事業数	算出根拠等		件	目標値	10	10	10	10
					実績(見込)	9	16	10	
					達成率(%)	90	160	100	
	算出根拠等	算出根拠等			目標値				
					実績(見込)				
					達成率(%)				
	算出根拠等	算出根拠等			目標値				
					実績(見込)				
					達成率(%)				
	算出根拠等	算出根拠等			目標値				
					実績(見込)				
					達成率(%)				
	算出根拠等	算出根拠等			目標値				
					実績(見込)				
					達成率(%)				
算出根拠等	算出根拠等			目標値					
				実績(見込)					
				達成率(%)					
補足									

3 分析・評価(Check)

H24決算における 分析・評価で 明らかになった課題	・引き続き終期までは補助制度の周知を図り、わかりやすく手続き方法を説明し、利用の促進を図る必要がある。合わせて、平成27年度からの地域住民の主体的な活動につながるよう指導することが必要である。
----------------------------------	--

4 今後の方向性(Action)

課題等に対する H25対応状況	・年度当初に開催した連合町内会長会において、具体的な申請書類作成手順の周知を図り、利用を促す。終期を目前に控えていることも踏まえ、申請前の事前相談にも応じ、地域住民の活動として機能するような事業運営の指導、自主的な活動となるよう指導を行う。
次年度の 実施方針	<input checked="" type="radio"/> 維持・改善 <input type="radio"/> 拡大 <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 廃止検討 <input checked="" type="radio"/> 維持・改善 <input type="radio"/> 拡大 <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 廃止検討

平成26年度を終期としている事業であり、執行内容を精査しながら27年度以降の対応について検討する必要がある。
(担当課評価に同じ)

コスト面

コスト 指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)	H23 決算額	H24 決算額	H25 予算額	H26 予算要求額
	歳出(千円)	(A)	2,842	3,617	5,000
	受益者1件当たり(円)	(A/B)	612	781	1,093
	受益者	丹生川地域住民(4月1日現在)	(B)	4,643	4,629

5 予算編成(Action2)

事業内容	・地域住民が自主的、主体的に取り組む公共性の高い地域づくり事業に対する助成	要求の ポイント	事業実施の 課題	支所	地域 政策課	平成27年度以降は市の関わり方を整理し、地域づくりの観点から市が実施することと地域で実施することの整理が必要である
------	---------------------------------------	-------------	-------------	----	-----------	---

事業費(人件費除く)		H25当初予算額	H26予算要求額	増減	財務部調整額	市長査定額	財務部調整の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)		5,000	5,000	0	5,000	5,000	・要求どおり	・財務部査定のとおり
財 源 内 訳	国庫支出金			0				
	県支出金			0				
	その他			0				
	一般財源	5,000	5,000	0	5,000	5,000		

平成26年度 事業別予算概要(地域振興特別予算)

事業名	20999	地域要望対応事業	会計	1	一般会計	特別 予算の 位置 付け	A	合併前から実施されているイベント・行事	根拠計画	地域振興計画	市長 公約	合併のメリットを生かしつつ、それぞれの地域の特性をのばします。 ・地域の個性あるまちづくりと、市民の一体感を創るため、地域が手を取り合っ て取り組む活動に支援します。
	種別			2	総務費		B	一般予算の上乗せとして実施されている事業				
担当課	丹生川支所 地域振興課	内線	予算	1	総務管理費	○	C	終期を定めて実施する事業・単年度事業	H26計画額	13,718 千円		
				3112	9		企画費	D				

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	丹生川地域住民	どうしたい のか (意図)	・安全、安心、快適な住環境を作ることができる ・地域住民からの要望に即応することができる	概要	事業の実施 手法(手段)	・市道、農道、水路等の公共施設の軽微な補修要望などに迅速に対応する
	対象者数	4,573					

2 事業の推移・結果(Do)

H24実績	・緊急に対応すべき事業や町内要望に対応して、道路修繕など12事業を実施								
成果 指標	指標名		単位	目標・実績	H23	H24	H25	H26	
	実施件数			件	目標値	10	10	10	10
					実績(見込)	12	12	12	
		算出根拠等			達成率(%)	120	120	120	
					目標値				
					実績(見込)				
		算出根拠等			達成率(%)				
					目標値				
					実績(見込)				
		算出根拠等			達成率(%)				
					目標値				
					実績(見込)				
算出根拠等			達成率(%)						
				目標値					
				実績(見込)					
	算出根拠等			達成率(%)					
補足									

3 分析・評価(Check)

H24決算における 分析・評価で 明らかになった課題	改良工事を含めた視点での対応が望まれる
----------------------------------	---------------------

4 今後の方向性(Action)

課題等に対する H25対応状況	地域審議会、連合町内会を早期に開催し地域要望の早期把握に努めている。今後も要望に対し迅速に対応する。	
次年度の 実施方針	○ 維持・改善	平成26年度を終期としている事業であり、執行内容を精査しながら27年度以降の対応について検討する必要がある。
	○ 拡大	
	○ 縮小	
	○ 廃止検討	
○ 維持・改善	(担当課評価に同じ)	
○ 拡大		
○ 縮小		
	○ 廃止検討	

コスト面

コスト 指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)	H23 決算額	H24 決算額	H25 予算額	H26 予算要求額	
	歳出(千円)	(A)	11,597	10,101	9,900	13,718
	受益者1件当たり(円)	(A/B)	2,498	2,182	2,165	3,000
	受益者	丹生川地域住民(4月1日現在)	(B)	4,643	4,629	4,573

5 予算編成(Action2)

事業内容	・公共施設等の軽微な修繕	要求の ポイント	事業実施の 課題	支所	地域 政策課	平成27年度以降は、市が取り組む事業として事業精査が必要である
------	--------------	-------------	-------------	----	-----------	---------------------------------

事業費(人件費除く)		H25当初予算額	H26予算要求額	増減	財務部調整額	市長査定額	財務部調整の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)		9,900	13,718	3,818	13,700	13,700	・配分額の調整	・財務部査定のとおり
財源 内訳	国庫支出金			0				
	県支出金			0				
	その他			0				
	一般財源	9,900	13,718	3,818	13,700	13,700		

平成26年度 事業別予算概要(地域振興特別予算)

事業名	土地借上料		会計	1	一般会計	特別 予算の 位置 付け	A	合併前から実施されているイベント・行事	根拠計画	市長公約
	種別		款				○	B		
担当課	丹生川支所		項				C	終期を定めて実施する事業・単年度事業	H26計画額	3,119 千円
	内線		目				D	その他事業		

1 事業の目的・概要 (Plan)

目的	誰を(対象)	どうしたいのか(意図)	施設用地の借上	概要	事業の実施手法(手段)	市の基準単価を上回る土地借上料の支払い
	対象者数					

2 事業の推移・結果 (Do)

H24実績		指標名	単位	目標・実績	H23	H24	H25	H26
活動指標	施設用地借上面積	目標値	㎡		1,054,864	1,054,799	1,054,535	1,054,535
		実績(見込)			1,054,864	1,054,799	1,054,535	
		算出根拠等		達成率(%)		100	100	100
成果指標	基準超過施設件数	目標値	件		6	5	4	4
		実績(見込)			6	4	4	
		算出根拠等		達成率(%)		100	80	100
成果指標	基準超過割合	目標値	%		6	5	4	4
		実績(見込)			0	0	4	
		算出根拠等	基準到達件数累計/基準超過件数	達成率(%)		0	0	100
成果指標	算出根拠等	目標値						
		実績(見込)						
		達成率(%)						
補足	算出根拠等	目標値						
		実績(見込)						
		達成率(%)						

3 分析・評価 (Check)

H24決算における分析・評価で明らかになった課題	市の基準に近づくよう継続的な単価交渉を行っているが、地域の理解を得つつ慎重に交渉する必要がある
--------------------------	---

4 今後の方向性 (Action)

課題等に対するH25対応状況	市の基準に近づくよう単価交渉を進めて行くとともに、事業経費と受益者負担金との不均衡を改善する方法として、使用料金の見直しの検討や、今後の施設の在り方を検討する																				
次年度の実施方針	<table border="1"> <tr> <td>担当課評価</td> <td>維持・改善</td> <td rowspan="3">市の基準に近づくよう単価交渉を継続する</td> </tr> <tr> <td></td> <td>拡大</td> </tr> <tr> <td><input checked="" type="radio"/></td> <td>縮小</td> </tr> <tr> <td>二次評価</td> <td>廃止検討</td> <td rowspan="3">(担当課評価に同じ)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>維持・改善</td> </tr> <tr> <td><input checked="" type="radio"/></td> <td>縮小</td> </tr> <tr> <td></td> <td>拡大</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>廃止検討</td> <td></td> </tr> </table>	担当課評価	維持・改善	市の基準に近づくよう単価交渉を継続する		拡大	<input checked="" type="radio"/>	縮小	二次評価	廃止検討	(担当課評価に同じ)		維持・改善	<input checked="" type="radio"/>	縮小		拡大			廃止検討	
担当課評価	維持・改善	市の基準に近づくよう単価交渉を継続する																			
	拡大																				
<input checked="" type="radio"/>	縮小																				
二次評価	廃止検討	(担当課評価に同じ)																			
	維持・改善																				
<input checked="" type="radio"/>	縮小																				
	拡大																				
	廃止検討																				

コスト面

コスト指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)	H23 決算額	H24 決算額	H25 予算額	H26 予算要求額
	歳出 (千円)	(A)	11,479	9,645	6,922
受益者1件当たり(円)	(A/B)				
受益者	(B)				

5 予算編成 (Action2)

事業内容	土地借上料	要求のポイント	事業実施の課題	支所	市の基準に近づくよう単価の交渉が必要	複数課	施設の継続運営のため、市基準での土地借上料に近づくよう単価交渉を継続する必要がある。
						地域政策課	基準内の借地料となるよう交渉が必要である。

事業費(人件費除く)		H25当初予算額	H26予算要求額	増減	財務部調整額	市長査定額	財務部調整の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)		6,922	5,308	△ 1,614	5,308	5,308	・要求どおり	・財務部査定のとおり
財源内訳	国庫支出金			0				
	県支出金			0				
	その他			0				
	一般財源	6,922	5,308	△ 1,614	5,308	5,308		